

第435号

発行
浄土真宗
心光寺
奥原曇龍
倉敷市早高426
☎(086)420-1311



本来の歩む道



カット：本多紘子

春たけなわの季節となりました。春はスギ花粉やヒノキ花粉が飛ぶ季節であり、中国からの黄砂も飛んでくる季節です。皆様お元気で過ごしてでしょうか。花粉症で体調を崩されていませんか。

地球温暖化で3月に入ると本格的な暖かさを感じましたが、すぐに寒くなりお彼岸の中日までは寒くて、愚僧は少し体調を崩しました。3月23日から急に暖かくなり倉敷の倉敷川沿いでは染井吉野桜が開花しました。倉敷川沿いでは川津桜も植えていますので、3月に入ると川津桜が咲き出し、やがて満開となり散りましたが、倉敷市民は二度の花見を楽しむことが出来るので嬉しいことです。

4月は入学式や入社式もあり、本来ならば一年中で一番ウキウキする季節ですが、今年はアメリカとイスラエルが2月28日に中東のイランと核開発停止の協議中に、突然イランを空爆し、イランの最高指導者のハメネイ氏や革命防衛司令官、参謀総長、国防軍需相ら多数の人を殺害しました。今回のトランプ米大統領のイラン攻撃は、国連安全保障理事会の決議もアメリカ議会の承認もありませんでした。一方的な武力に訴えて、他国の主権を侵害する行為は、国際法違反であります。トランプさんに法の秩序を守らせる人がいないのは残念です。

*心の悩み・信仰の相談は月曜日から木曜日の午前中に気楽にお電話下さい。

4年前ロシアのウクライナ侵攻があり、小麦や石油製品が値上がりし困りましたが、日本政府の極端な円安為替レートの影響がはじまっていた頃なので、輸入している食料品や工業製品・石油製品が急激に値上がりし、日本の低所得者は悲鳴を上げていました。そんな折り、アメリカとイスラエルがイランを容赦ない攻撃をし、中東の産出する石油をホルムズ海峡を通って運ぶ大型タンカーが、イラン軍のミサイル攻撃で搬出されにくくなり、石油や石油製品が暴騰し、世界の物価が高騰しています。低所得者や後進国の人たちが働き場を失ったり、食料を手に入れることが出来ず、飢餓にも苦しみます。戦争は当事国だけでなく、世界中の人々を苦しめるので即時停戦を望む愚僧です。天台宗の開祖、伝教大師最澄の『願文』に「悠々たる三界は、純ら苦にして安きことなく、擾々たる四生は唯患にして樂しからず。牟尼の日久しく隠れて、慈尊の月未だ照さず」と始まっていますが、「果てしなく広い世界は、全て苦の世界で、安らかなことはありません。騒ぎ乱れている様々な生き物は、ただ心配ばかりで楽しいこともありません。この世の救済者であった釈迦が死んだのは、すでに遠い昔であり、次の救済者である弥勒の出現も期待できません」と言う意味ですが、最澄師の時代も、今の時代も、この世は多くの災いに臨み、自己本位で世も濁りきり、腐りきっているのですね。伝教大師最澄さんは自分を愚中の極愚ではあるが、この上なく尊い仏教の真理を体現することを『願文』にしますと絶望の中から希望を書かれたのです。

生活のルールが大きく変わる4月です。比較的軽い交通違反に適用される「青切符」が自転車運転にも適用されます。高校授業料の無償化拡大、親が働いていなくても保育園を利用できる「こども誰でも通園制度」も始まりますが、子供たちにとって本当に生まれてきて良かったと思えるような社会になっているのだろうか。科学技術に支えられた現代文明の生きにくさを感じている愚僧には、「別の道」というか、本来の歩む道を真剣に尋ねたいものです。合掌 (奥原 曇龍)

「生き物である人間は本来の歩む道こそ選択しよう」 どんりゆう



カット：府川 綾

ともしび説法

日時・四月十九日(日)・午後一時から四時頃まで。
春の永代経法要 儀式と仏教講演
場所・倉敷市早高426 新本堂 電話086-420-1311

ともしびを読みたい方、お寺についてもっと知りたい方 [心光寺](#) [倉敷](#) [検索](#)



お釈迦様ものがたり 114

お釈迦様の入滅(死)をクシナラのマッラー族の人々に、翌日の明け方に従者のアーナンダは伝えます。

彼らはこれを聞いて、ふたたび悲嘆を新たに、薫香や花輪や楽器を集め、お釈迦様の周囲に幕を張り、薫香や花輪を供え音楽を奏しました。かくて一週間が過ぎ、お釈迦様の遺体を茶毘(火葬)にするために、運ぼうとしたけれども、動かすことが出来なかった。

しかし十大弟子のアヌルッダの示唆に従って、お釈迦様の遺体を城市の北門から中央に運び、そこから東門を経て東方のマクタパンダナ(天冠寺)というマッラー族の廟に行つて、そこで茶毘することになった。そのため、お釈迦様の遺体を転輸王の葬法に従って懇切丁寧に、立派な棺に収めて幾重にも囲んで、香華を供えて天冠寺に運んだが、茶毘しようとしても遺体は燃えなかった。これは当時、お釈迦様の第一の長老であるマハーカッサパが来るのを待ったためであった。

マガダ国の南方の山を遊行していたマハーカッサパは、お釈迦様の入滅の近いことを感じ、五百の比丘(僧侶)を連れて、マガダ国からお釈迦様の後を追って北上していた。ちょうど彼らの一行が、パーブー城からクシナラーへ向かって急いでいた時、北方から一人の外教徒が、花を携えてやって来るのに出会った。お釈迦様の様子を聞くと、お釈迦様は入滅されてからすでに一週間も経ていること、自分が持っている花はお釈迦様の遺体に供えていたのを分けて貰ったものであることを語ります。

これを聞いた比丘達は大いに驚きます。すでに覺りを開いたものは、これが世のならいであると耐え忍んだが、未熟な人たちは、嘆き悲しみ胸を打って慟哭しました。マハーカッサパの一行は、ようやく天冠寺に到着し、一礼後、茶毘が始まります。合掌(奥原豊龍)

春塵や法要華麗に経読めば 口はさらさら南無阿弥陀仏 田辺多恵子



3月29日 心光寺総代会

ともしび法話

春爛漫の4月、入学式や入社式のシーズンです。小学一年生も学校生活は大変。皆様、お元気で過ごしていきましょうか。

お寺も春のお彼岸の行事から、4月19日の春の永代経法要の準備です。3歳半の娘と8ヶ月の男児を育児しながら、皆様に助けられ頑張っています。合掌
心光寺新坊守(ぼうもり) 府川 綾

3月9日に主人の博昭が満86歳で御浄土に旅立ちました。生前は静かでした。葬儀では豊龍先生に大変お世話になりました。
倉敷市天城台 綾目 桂子

4月19日(日)の午後一時より心光寺の春の永代経法要には必ず出席させて戴きます。堺市の大圓寺住職様の仏教講演も楽しみにしています。お手伝いもします。
倉敷市西中新田 古谷 洋子

「春爛漫心を潤す寺の庭
みんなで参る春の法要」
4月19日の春の法要でお会いしましょう。
倉敷市藤戸天城 福原 浩子

ともしび説法

日時・四月十九日(日)・午後一時から四時頃まで。

場所・倉敷市早高四二六 心光寺(しんこうじ) 本堂にて

電話・(086)420-1311 駐車場有り

(宗派をとわず、まじめに人生を考えているあなたに参加していただきたいのです。)

○ともしび説法・お寺の行事予定

五月二十一日(木)・午後一時半から四時まで・早高の本堂。

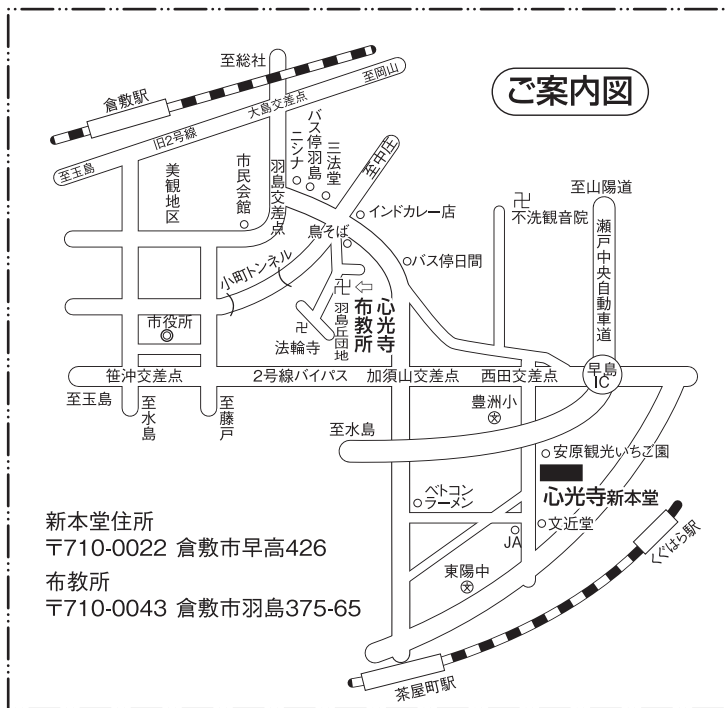
六月十八日(木)・午後一時半から四時まで・早高の本堂。

七月十六日(木)・午後一時半から四時まで・早高の本堂。

☆ともしび会は、月額七百円の会費制です。(賛助会員募集中)。

ともしび新聞を毎月発行し続けていますが、たくさんの方の費用がかかります。賛助会員になって下さる方があれば嬉しく思います。

会員には、ともしびを郵送させていただきます。(お電話下さい)

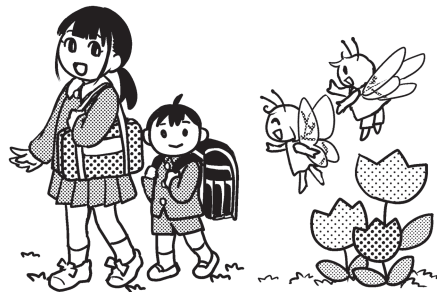


新本堂住所 〒710-0022 倉敷市早高426
布教所 〒710-0043 倉敷市羽島375-65

◎ともしび制作費に御寄付ありがとうございました。
倉敷市 矢羽田直夫様 7千円
倉敷市 左右田康弘様 総社市 土井建設様 1万円

浄土真宗心光寺についてもっと知りたい方
お寺や『ともしび』について知りたい方

心光寺 倉敷 検索



カット:吉岡美枝

うたの詩

春爛漫の4月が今年も来たよ
満開の花を楽しみながら
みんなが助け合い支え合える
無欲で愚直な心を願う
名誉欲と財産欲が争いを生むよ
物にとらわれず心を広げよう
戦争の無い世界を祈って...



〒710-0022 倉敷市早高426
浄土真宗(じょうどしんしゅう)心光寺
TEL(086)420-1311 FAX 420-1322
携帯電話 (090)-2297-2504

★『ともしび』の毎月発行も、お陰様で「435号」となりました。心光寺は、誰でも気軽に来られる「心の雨宿りのお寺」を目標に頑張っています。4月19日の春の永代経法要の日には倉敷駅西ビル横に12時、茶屋町駅西口に12時20分、お寺より自動車でお迎えに行きます。自動車の送迎が必要な方は心光寺までご連絡下さい。合掌 総代長 本家豊彦